

教科		地理歴史	科目	日本史B		学年	2	単位数	4
類型		共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択			
学習の到達目標					使用する主な教材				
わが国の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、わが国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					詳説日本史（山川出版社） 新詳日本史図説（浜島書店）				
期	月	配当時間	学習内容		学習の具体的内容とねらい				
第 一 学 期	4	15	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの		・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。				
	5	1	中間考査						
	6	15	第2章 律令国家の完成		・律令国家が成立するまでの政治の動向、律令に基づく国内の政治体制について理解する。 ・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。				
		1	期末考査						
	7	7	第3章 貴族政治と国風文化		・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。				
第 二 学 期	8	3	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立 1：院政と平氏の台頭		・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・平氏政権の特性について考察する。				
	9	18	2：鎌倉幕府の成立 3：武士の社会 4：蒙古襲来と幕府の衰退 5：鎌倉文化		鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい機運が生まれたことを理解する。				
	10	1	中間考査						
	11	16	第5章 武家社会の成長		・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。				
		1	期末考査						
	12	9	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の成立 1：織豊政権 2：桃山文化		・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。				
第 三 学 期	1	10	3：幕藩体制の成立 4：幕藩社会の構造		・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。				
	2	8	第7章 幕藩体制の展開		・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。				
		1	学年末考査						
	3	4	第8章 幕藩体制の動揺 1：幕政の改革		・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。				
評価の方法		定期考査および小テストの実施、課題提出等を総合して評価する。							